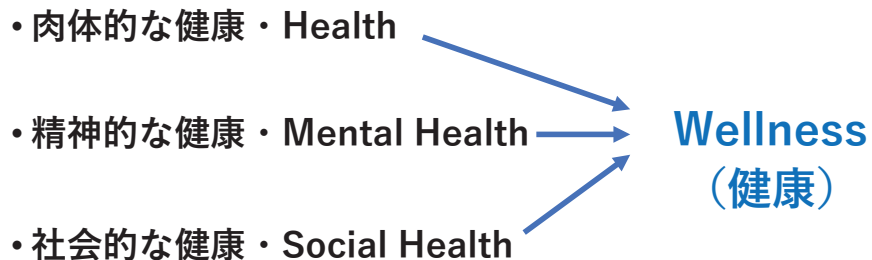


## 17. オーラルフレイルと予防矯正

( 終わりに )

健康 = Health ?



### WHO憲章

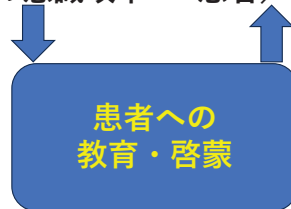
- 世界保健機関（WHO）による健康の定義の原文は、"Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity." です。これは、単に病気でないことだけでなく、**肉体的、精神的、社会的**に完全に良好な状態であることを意味します。

生涯を健康に！！  
オーラルフレイルと予防矯正

- 加齢と共に肉体は衰えるけれども・・・
- 100歳までの健康プランを！！
- Healthの源は“歯”と“脚”とがしっかりしていることが鍵！！
- 究極の口の手入れ法の確立と維持:Self Care
- 咬合の安定の確立と維持：予防矯正、Self Care
- 継続的な適度な運動

## HC - 0 を目指して！！

- 健康な高齢化社会を！！
- 明るい、夢のある未来を築こう！！
- 私たち医療人の意識改革 + 患者／国民の意識改革 が必須！！



## まずは、原因ありき！！

- 不正咬合には原因がある。
- その原因を特定し、改善を図る。
- 狂った形態（＝不正咬合）を治すのはその後で！！

“ 姿勢の乱れ、悪習癖と不正咬合との関係を世間に知らしめる。”

⇒ 不正咬合予防のカギ！！

## 予防矯正の特徴 1

- 原因療法であり、結果療法にあらず。
- 機能・姿勢・形態を正し、成長発育を正常化する。
- 赤ちゃんから15歳までの成長発育期を対象とする。
- 早期発見、早期対応、長期管理・支援である。

## 予防矯正の特徴 2

- 主訴に早期に応える。：患者の悩みを早く解消する。
- 第2期治療の難易度を下げる／必要性を無くする。
- 非抜歯を目標とする。
- 生涯の健康の源づくりである。

## 1. 早期初期治療

(乳歯列期～混合歯列前期への対応)

- 姿勢的問題の改善指導：態癖改善、睡眠時態癖の改善
- 機能的問題の中止支援：悪習癖の改善
  - 呼吸法の改善、舌癖改善、咀嚼法の指導、嚥下法の指導
- 形態的問題の改善：
  - 顎位の是正：トレーナー
  - 反対咬合の改善：ムーシールド、KDCプレート

## 2. 第1期治療

(混合歯列前期～後期の対応)

- 原因除去
- 態癖指導
- 悪習癖改善指導：筋機能療法（MFT、ペットボトル吊り、オーラルスクリーン、軟口蓋なめ etc）
- 舌小帯切除
- トレーナー（T4K、Multi Family、EF Line、Myobrace etc）
- 拡大床（Parallel type/Fan type）
- 咬合斜面板、FKO、
- 3DL（後期になれば）

## 第1期治療のポイント

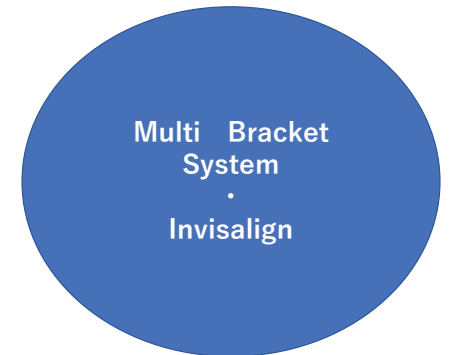
(混合歯列前期・後期)

- E-Space が有るか、無いのか？
- Leeway Space は消失していないか？
- E-Terminal Plane は？
- 4 前歯の状態は？
- 1 6、2 6、3 6、4 6 は正常な状態か？

## 3. 第2期治療

(永久歯列発育期への対応)

- 歯列のレベルを整える
- 個々の歯牙の捻転を治す
- 個々の歯の歯軸を整直させる
- 咬合の緊密化を図る



## 早期治療の是非論

・ **反対派**：根強い反対論、短期決戦型  
by 矯正専門医

・ **賛成派**：早期初期治療、第1期治療の必要性を評価。  
早期発見、早期対応、長期管理  
by 小児歯科医師、**GP**

子どもにとって  
どちらが  
幸せ？！

原因を放置して良いのか！

狂いは少ないうちに治す！

正常な成長発育に導く！

患者の主訴（悩み）に応える！

**GPの責務！！**

## 予防矯正の方程式

Hop : その形態になった**機能的な/姿勢的な原因**を探る。



Step : **その原因を取り除くための注意、指導、支援**を行う。



Jump : その後、**形態の改善**に取り組む。

## 予防矯正の難しさ/問題点

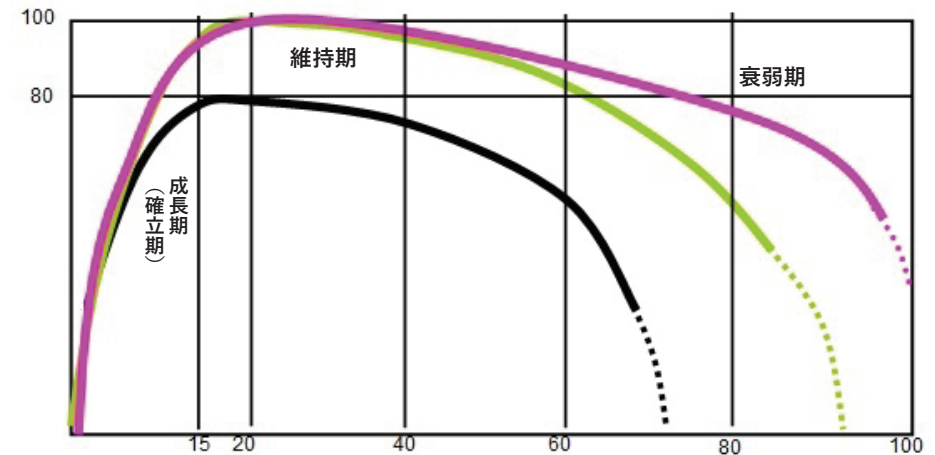
- ・ 原因が口腔周辺に止まらず、全身と関連している。
- ・ 総合的な見識を必要とする。（総合医）
- ・ 健康保険で認められていない。（全て自費診療）
- ・ 大学教育が認識していない。（統合医療の教育機関ではない）
- ・ 歯科医師はHow to（技術）には興味があるが、予防には興味が希薄でる。  
： 結果処理に興味があり、原因療法に興味が薄い。
- ・ Dentistry（歯科）から Mouth Clinician（口科）への切り替えが未だ遠い。

## 健康の確立と維持

Health = Establish & Maintenance

(1970年代 Dr. Daryl R. Beach)

## 人生100歳時代の健康パラダイム



## 持続可能な医療とは？

「結果処理中心の医療」



「予防中心の医療」

Establish (治療) は短期 (一時)

Maintenance (維持) は長期 (生涯)

- ① Self - Care の確認
- ② Professional - Care の確認

今からは、治療することより  
健康を維持することが大切！！

Establish : Treatment Planning

Maintenance : Maintenance Planning

“HC-0” に向かって

①健康の確立のための **Treatment Planning** を！！

**Short Term** : 正確な診査と適切な治療計画

⇒確実な治療 (pd Care)

②健康の維持のための **Maintenance Planning** を！！

**Long Term** : 再発防止、生涯の健康保持の計画

三大疾患（う蝕、歯周病、不正咬合）の予防：

⇒適切な生涯メンテナンス計画

PCP (Post Case Presentation)

- ・治療終了後のDiscussion
- ・生涯の健康の維持のスタート！！
- ・歯科衛生士（歯科医）が担当

Maintenance Planning を！！

- ・PCP (Post Case Presentation) 時に、
- ・その患者の生涯の維持計画を理解してもらう。
- ①今回の疾病の原因を伝え、原因改善の確認
- ②処置内容と維持法の確認
- ③悪習慣、体癖改善の確認
- ④Self Care（究極の口腔ケアの実施）の確認
- ⑤定期的なProfessional Careの必要性を伝える

## Maintenance Planningの必要事項

- 基礎情報：名前、性別、生年月日、年齢、学校、学年
- 過去の治療内容
- メインテナンス事項
- 性格
- 得意分野
- クラブ
- 塾
- 進路／希望／夢
- メインテナンス計画の説明



## Professional Care 時のチェック項目

- 口腔内診査：う蝕、歯周病の有無、状態
- Scaling、Self Careの確認
- 咬合状態の確認
- 悪習癖／態癖改善の確認
- 家庭・生活環境の状況確認

私たち歯科の目標は

**”HC=0”**

1990年 Dr. Daryl R. Beach  
Health Care の必要性をなくする。

治療主体 × ⇒ 予防主体 ○

生涯の健康のカギは？

### •食事と運動と社交

- 食事：生涯自分の歯で 噛む！！
- 運動：安定した咬合が必要！！
- 社交：会話、歌う、笑う！！



## 自分の健康は自分で守る！！

- 患者の健康に対する意識と努力が必須条件
- 治療中心→予防中心
- 今までは治療中心
- これからは健康の維持が中心
- 生涯の健康を維持するための方策が重要！！

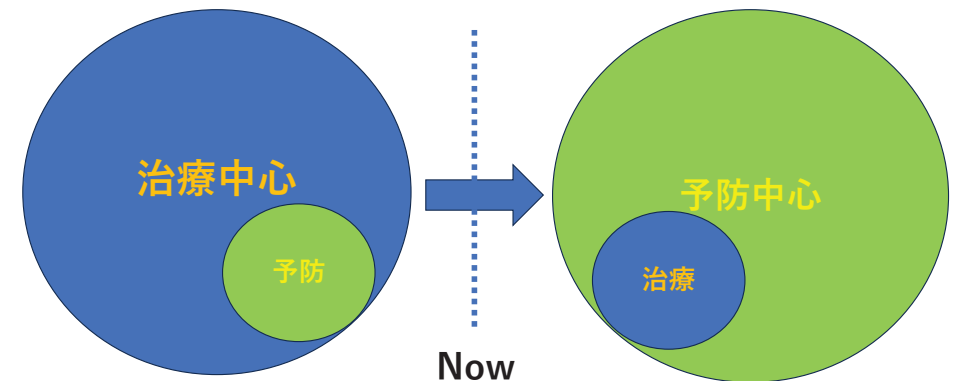
## 予防矯正とは

成長期（0歳～15・6歳）に歯列の乱れ（不正咬合）の原因を見出し（特定し）、それを改善すると共に、形態を整える。

そして、生涯にわたり歯列が乱れないようにメンテナンスをし、

生涯自分の歯で噛める喜びを与えると共に、  
生涯を健康に過ごせる様にする。ことである。

## 医療の宇宙法則



予防矯正は、

GP（一般臨床医）に課せられた、

持続可能な

価値ある仕事である！！